

39. 熊本大学附属図書館改善計画書

領域	改善計画（H27. 3. 31現在）	改善状況①（H27. 12. 1現在）	改善状況②（H28. 12. 1現在）
社会貢献	（法人評価までに改善する計画） 平成26年度に具体的な評価を得る方法を検討し、貴重資料展および公開講演会/セミナー参加者へのアンケート調査を実施した。アンケート結果では、図書館改修後の新しいスペースを会場とした企画が好評であったため、次年度以降もその特性を活かした計画を実施する。	平成26年度の来場者アンケートの結果を反映し、好評であった中央館ラーニングcommonsを会場として、11月1日～3日に「第31回附属図書館貴重資料展」及び「公開講演会/第10回永青文庫セミナー」を実施した。その結果、セミナーには、前年度より10%増の102名の参加があった。 来場者に対しては、引き続きアンケートを実施し、改善に繋がる要望等を収集し改善に努めている。	改善済み
国際化	（法人評価までに改善する計画） 外国人留学生に特化した、図書館TAによる留学生サポート、同じくTAによる留学生向け図書館案内ツアー等を計画し、実施する。	今年6～7月に、図書館職員による個別相談会、10月に図書館TAによる図書館ツアーを開催し、その他必要に応じてTAによる留学生サポートを随時実施している。 また、後学期開始時期に、留学生向けの中央館利用案内を国際戦略ユニットを通じて新入生に配布した。	改善済み
	（2年間で改善する計画） 外国人留学生に特化したコーナーやスペース等の施設設備に関して、本学の現状や他大学の状況を調査把握後改善計画を策定し、整備を開始する。	館内表示の点検を行い、一部は英語併記へ変更した。 28. 3に竣工予定のグローバル教育カレッジ施設における外国人留学生のための施設整備計画の情報を収集するとともに、図書館としてどの様に国際化を進めるかについて検討を行っている。	グローバル教育カレッジが開設したことから、改善計画については、カレッジ関係者や附属図書館運営委員会委員に意見を聴き、次のような具体的支援にとどめ実施している。 ○館内サインの英語表記を進めるとともに、中国語表記の検討を行う。 ○外国人留学生の図書選書の機会を増やし、日本（熊本）を紹介する図書をはじめ外国図書の充実を図る。 ○GLCコースの入学前教育の実施に当たり、学生（合格者）が図書館を有効に活用出来るよう実施部署と連携する。
その他 （教育研究支援）	（次の組織評価までに改善する計画） ラーニングcommonsの活用法については、全学的な協議とすることが重要である。教育会議等への議論の働きかけや議論に基づく具体的な活動を他部署と協働で実施する等、ラーニングcommonsにおける教育支援活動の充実を図る。	附属図書館運営委員会の下に、「附属図書館の利活用に関する専門委員会」（教職員、学部学生・院生で構成）を設置してラーニングcommonsの活用について検討、学生委員からのラーニングcommonsの知名度を上げるべきとの意見を受け、まずは全学生向けニーズ調査のアンケートを実施すると同時にラーニングcommonsの紹介を行うことになった。アンケートの締め切りは2月末である。 また、教育会議において審議されている「肥後熊本学」の実施計画に注視して、次年度以降の同授業科目への関わり方について検討を行っている。	①図書館の利活用に関する学生アンケートを実施し、その結果を基に左記専門委員会で検討を行っている。 ②南棟に「肥後熊本学」コーナーを設置し、コーナーの充実を図っている。また、肥後熊本学担当者会議に陪席し、関連図書の購入希望照会やラーニングcommonsの利用案内を行う等、次年度から当該授業が円滑に実施されるよう、図書館として出来る支援を行っている。
その他 （男女共同参画）	（次の組織評価までに改善する計画） 男女共同参画推進及びワークライフバランスの実現のため関連資料を収集し、それらを利用した本学の男女共同推進に係る展示を実施する。また展示を実施することにより併せて本学育児・介護支援制度の周知を行う。	図書館を会場とした男女共同参画講演会等の開催について、関係者あてに呼びかけを行っている。 また、引き続き男女共同参画関連図書を収集するとともに、関係者と協同して図書館内での関係資料等の展示企画を計画する。	引き続き男女共同参画関係者と、講演会の開催や関連図書の展示といった取組みの可能性について情報交換を行っている。現在、学内で活用されている男女共同参画関連の図書は、次年度以降に集約される見込みであり、その結果を待って図書館への配架を依頼する予定である。